主催:(仮称)磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会 磐田市市民活動センターのっぽ

令和5年度

第1回 いわたまちづくりワークショップ

報告

1 ワークショップの概要

まちづくりに対する幅広い世代の率直な意見や考えを聴ける場として、(仮称)磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会と磐田市市民活動センターのっぽが主催となって、第1回いわたまちづくりワークショップを開催しました。

第1回は、参加者に(仮称)磐田市協働のまちづくり基本条例の内容をはじめ、条例の役割や位置付けを知っていただくとともに、まちづくりには対話の積み重ねが重要であることを共有しました。

開催日時: 令和5年7月1日(土)13時30分~16時30分

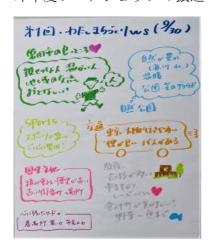
開催会場:磐田市役所本庁舎4階大会議室 参加者:20名(うち男性11名・女性9名)

昨年度の参加者のうち本年度も参加を希望された方

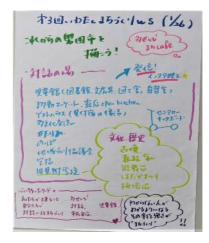
及び団体等からの推薦を受けた方

2 ワークショップの流れ

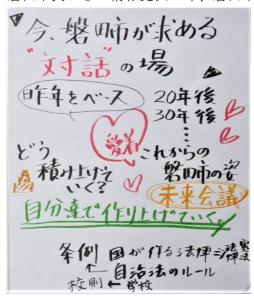
- 参加者を4グループ(1グループ5名)に編成
- 進行は原口佐知子ファシリテーター (Musubi 代表、ファシリテーター普及協会認定ファシリテーター、牧之原市市民ファシリテーター)
- 昨年度ワークショップの振返り

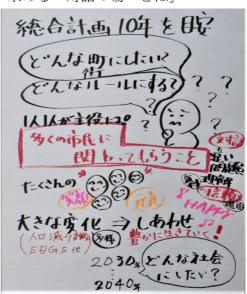






○ 磐田市長からの情報提供「今、磐田市が求める"対話の場"とは」





- 自己紹介
- 学び「(仮称)磐田市協働のまちづくり基本条例について」
- 対話「条例への感想と質問」
- 〇 発表
- まとめ

3 ワークショップの様子











































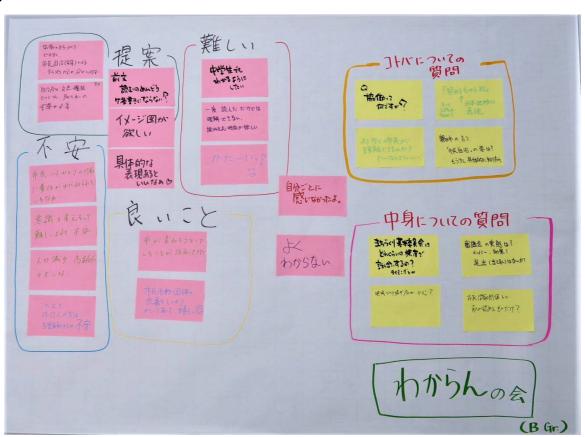


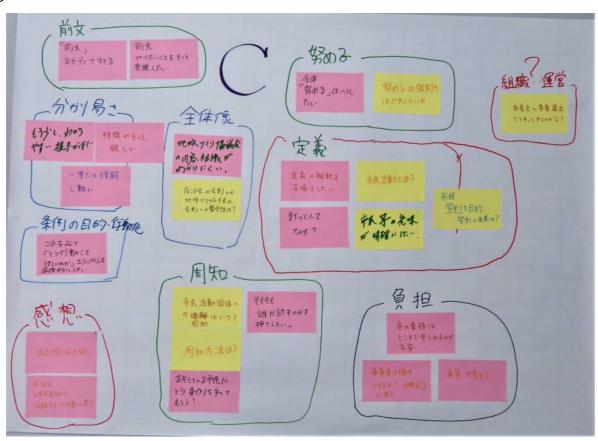
各グループの模造紙

Α

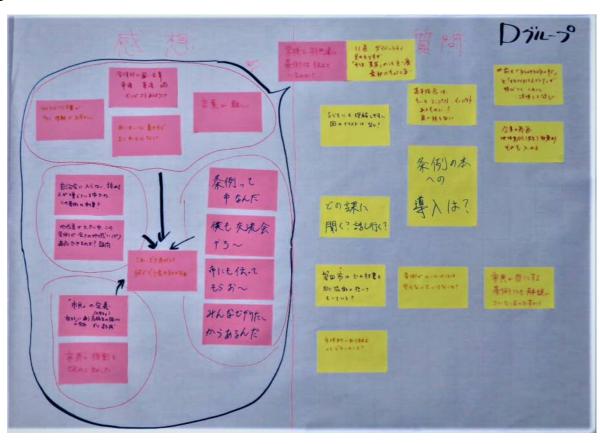


В





D



難いことはまくわからない理解であり、中学生で高級者
自治会といればら呼ばれるである。
というがり、クコメナいかされる
いかのる表現
自分ごとに思いない
不安か多い
市民者動団体のかった
、実常談にとかかないことがわからない
、地域でのは議会もかりがらい
、地域でのは議会もかりがらい
、神域でのは議会もかりがらい
、記に読んではい?
深様りでいて、助け合いがよ切
、か担していて、そ

質問のまとめ

```
日本年首は?
日前を王が帰れているいはれますので、
主教をのでは計しては不不?一中の記の下
これが難い、「おの事」 「一名の3」
・ き見をのある。
・ き見をのある。
・ おんだとうがの理例は?
・ や目前をではるなる性
・ 中に通から はまるしまるします。
・ でかいあから はまるしまるします。
・ でかいあから はまるしまる。
・ でかいあから はまるしまる。
・ はんでしまる。
・ でかいあから はまるしまる。
・ でかいあから になるなられ
```

4 今後について

第2回いわたまちづくりワークショップの開催日時等は以下のとおりです。

開催日時: 令和5年7月22日(土)13時30分~16時30分

開催会場:磐田市役所本庁舎4階大会議室

開催概要:「市民の役割・市の役割ってなんだろう?」

行政主体のまちづくりから市民が考え主体的に関わるまちづくりの時代へ。 行政の役割・市民の役割と協働すべきことを考えていただく予定です。

事務局:磐田市自治デザイン課